

# **個別事業説明書【PR版】**

**農 林 水 産 部**



# 1 えひめの食応援事業費

令和5年度12月補正予算（案）  
予算額 553,040千円

原油価格・資材等の物価高騰の影響を受けた生産者や消費者を支援するため、県内の農産物直売所で使用できる県独自のプレミアム付き商品券の発行とともに、消費拡大プロモーションを実施し、県産農林水産物の需要喚起や消費を下支えする。

お問い合わせ先  
農林水産部農政企画局  
食ブランドマーケティング課  
(089-912-2560)

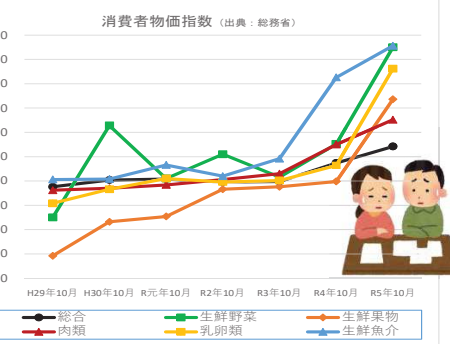
## 事業イメージ

<b>KPI</b>	事業参加「農産物直売所」1店舗当たりの売上額 (現状の売上額から20%増を目指す)	現状値 2,026万円/店・利用期間(R3年度)
		目標値 2,431万円/店・利用期間(R6年度)

## 事業概要

【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

### 【背景】



飼料や肥料、光熱動力など生産コスト増が続く

物価高騰が続く中、生鮮魚介や肉、生鮮野菜などの食料費の高騰が顕著

## 1 「農産物直売所プレミアム商品券」事業

538,290千円

県内の農産物直売所で使用できる「プレミアム付き商品券」の発行

- 参加条件：県内の農産物直売所  
(事業参加希望の農産物直売所を登録)
- 商品券購入対象：県民（商品券購入希望者による申込制）
- プレミアム率：20%
- 販売額等

・販売1セット：6,000円（500円×12枚）⇒5,000円で販売  
[5,000円+1,000円（20%のプレミアム）]

・総セット数：440,000セット

・額面総額：26.4億円

- 対象経費：538,290千円（委託費）

・商品券のプレミアム分（販売総額の20%）：440,000千円

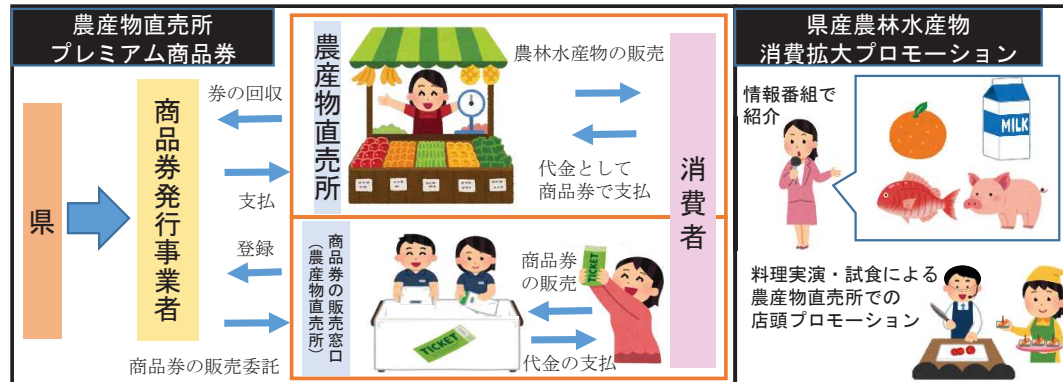
・委託事務費（商品券の印刷、換金、広報費等）：98,290千円

## 2 県産農林水産物消費拡大プロモーション

14,750千円

県内消費者に対し、農産物直売所への誘客や県産農林水産物の魅力紹介

- 地元テレビ局（4局）の情報番組
- 「えひめの食」応援キャラバン隊による店頭プロモーション  
] Aグループや愛媛県酪農業協同組合連合会など関係団体と連携してプロモーション実施



## 2 施設園芸燃料高騰対策緊急支援事業費

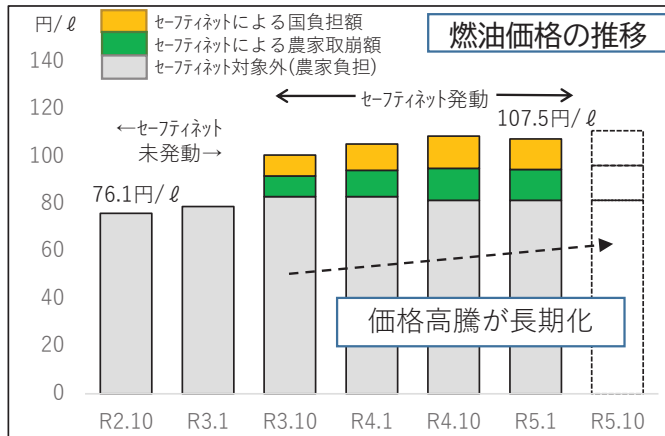
燃料価格の高騰が長期化している中、県内施設園芸農家の負担軽減を図るため、セーフティネット構築事業に加入している農家に対して、燃料に係る経費の一部を緊急的に支援する。

お問い合わせ先  
 農林水産部農業振興局  
 農産園芸課  
 (089-912-2565)

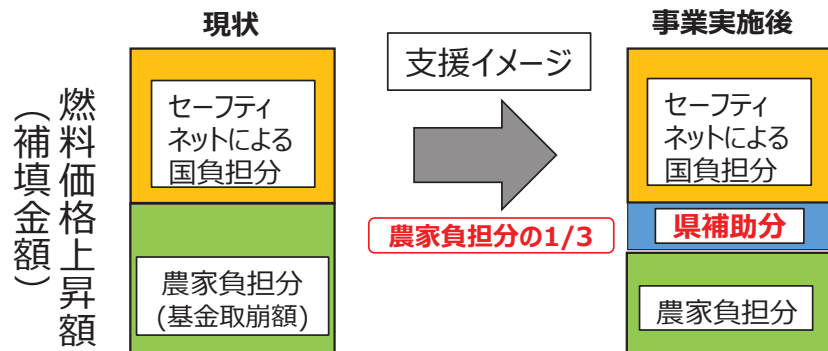
### 事業イメージ

**KPI** セーフティネット構築事業への加入件数  
 (セーフティネット構築事業への加入件数の維持を目指す)  
 現状値 67件 (R5.10時点)  
 目標値 67件 (R6年度)

施設園芸セーフティネット構築事業では、燃料価格が一定の基準を上回った場合に、国と農業者が1:1で積み立てた資金から補填金を交付しているものの、価格高騰の長期化等が農家経営を圧迫



価格高騰に備える農家の負担軽減を図り、持続可能な施設園芸を推進



### 事業概要

【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

### 施設園芸燃料高騰対策緊急支援事業

7,860千円

#### 1 事業対象者

国のR5施設園芸セーフティネット構築事業加入者

#### 2 事業内容

R6年1月～6月の間に、A重油等燃料価格の高騰により、セーフティネット構築事業が発動した場合の農家積立金取崩額相当分の1/3以内を補助

#### 3 採択要件

国のR5施設園芸セーフティネット構築事業加入者のうち、BCPの推進など持続可能な施設園芸に向けた取組みを令和5年4月～令和6年6月に実施する(した)者

#### 4 スキーム





# 3 捕獲獣流通円滑化促進事業費

令和5年度12月補正予算（案）  
予算額 15,500千円

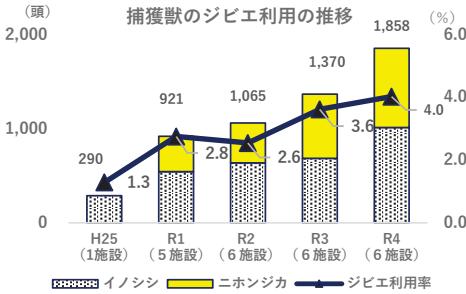
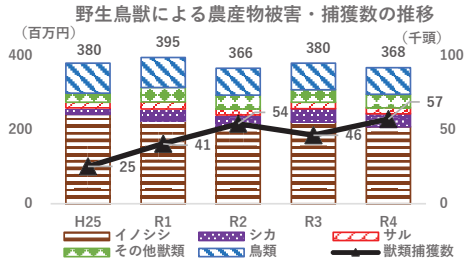
有害獣の捕獲数は増加しているものの、農作物被害が依然として高い中、さらなる捕獲強化による農作物被害の低減を図ることが必要なため捕獲資材の導入を支援するとともに、捕獲獣のジビエの認知度向上や消費拡大のためにフェアの開催等を行う。

お問い合わせ先  
農林水産部農業振興局  
農産園芸課  
(089-912-2565)

### 事業イメージ

**KPI** ジビエ利用頭数  
(予測利用数に500頭上乗せを目指す)  
現状値 1,858頭 (R4年度)  
目標値 2,700頭 (R6年度)

#### 【現状】



- ◆野生獣の捕獲数は増加、しかし被害額は依然として高い水準
- ◆R4の野生獣類捕獲数は過去最高

- ◆施設、処理頭数は増加、しかし利用率はまだ低い。
- ◆R5にあらたに2施設が稼働予定

#### 【課題】

- > 依然として多い野生獣（農作物・人的被害）
- > 鳥獣被害に加えて物価高でますます農業者の負担は増加
- > 物価高により狩猟に係る経費も増加
- > ジビエの認知度は低く、流通量も少ない
- > 資材高騰によりジビエ処理業者の運営費が拡大・さらに消費の停滞も懸念

#### 【対策】

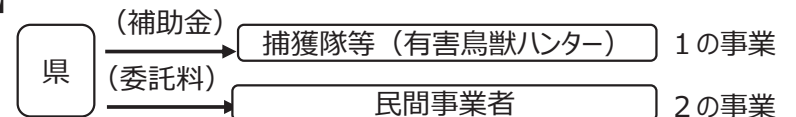
- ①「捕獲資材の支援による捕獲強化」  
> 捕獲数の増加で被害が軽減
  - ②「ジビエフェア等の開催」  
> 需要喚起・消費の下支えでジビエの認知度向上とジビエの消費を拡大
- ～捕獲から捕獲獣のジビエ利用までの一連の鳥獣害対策を総合的に進める～  
物価高の影響を受けている農業者・狩猟者・ジビエ処理業者を支援

### 事業概要

【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

- 1 有害獣緊急捕獲促進事業 10,500千円**  
捕獲隊等による野生獣のさらなる捕獲の強化を進めるため、捕獲資材であるくり罠の購入に要する経費について定額補助する。  
(1) 要件：捕獲隊、有害捕獲を行う者等で構成されている組織に属し、前年度又は申請年度に有害捕獲の許可実績のある者がくり罠を購入する場合  
(2) 補助率：定額。ただし、1基7千円を上限に1人6基までとする。  
@7,000円×250人×6基  
(3) 実施期間：R6.2～9月

- 2 ジビエ消費拡大支援事業 5,000千円**  
ジビエの認知度向上や消費を下支えするため、ジビエメニューを提供する飲食店等による期間限定フェアの開催と、消費拡大に向けた販促資材の作成等を行う。  
◆ジビエフェア開催（飲食店等：20店舗）  
◆ジビエフェア宣伝広告、ジビエのぼり等販売促進資材の作成  
(1) 委託先：民間事業者  
(2) 実施期間：R6.2～7月(フェアの開催は7月)  
【スキーム】





# 4 酪農・畜産飼料価格高騰対策緊急支援事業費

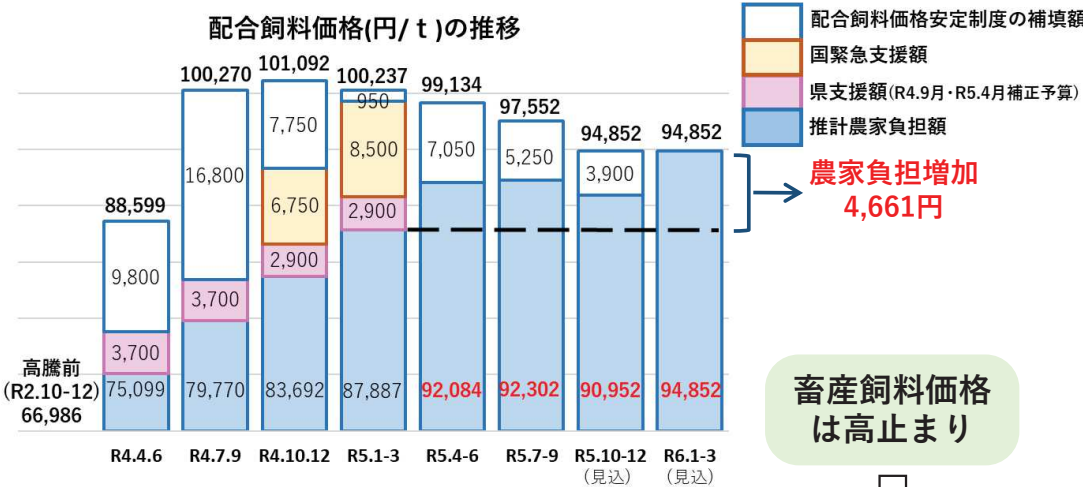
畜産経営に欠かすことのできない飼料価格の高騰が長期化しており、想定を遙かに超えた厳しい経営環境に直面し、経営存続の危機に陥っていることから、本県畜産基盤を守るため、経営を維持し、国産飼料利用拡大や生産性向上等に継続して取り組む意欲ある農家を補助する。

お問い合わせ先  
 農林水産部農業振興局  
 畜産課  
 (089-912-2575)

### 事業イメージ

**KPI** 支援を受けた畜産農家の経営の継続率

現状値 -  
 目標値 100% (R6年度)



畜産飼料価格は高止まり

[配合飼料]セーフティネットによる補填が圧縮され農家負担が増加  
 [とうもろこし]セーフティネットがなく、すべて農家負担

意欲ある農家を下支えし  
 飼料高騰に対応する  
 農家の取組の推進が必要

### 輸入とうもろこし価格(円/t)の推移

R3年度平均：34,831円

農家負担増加  
 3,473円

R5年度平均：38,304円

### 事業概要

【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

- 畜産配合飼料価格高騰対策支援事業(配合飼料対策) 381,046千円**  
 【事業主体】市町  
 【対象者】配合飼料価格安定制度加入者  
 【取組要件】飼料用米の利用や分割給餌による配合飼料の使用量低減など  
 【支援内容】配合飼料1tあたり1,500円  
 (R5.4月～R6.3月期の配合飼料価格安定制度の補填対象数量を上限)
- 自家配合飼料価格高騰対策支援事業(自家配合飼料対策) 6,446千円**  
 【事業主体】団体(県畜産協会他)  
 【対象者】自家配合飼料製造農家  
 【取組要件】飼料成分分析に基づく飼料設計の改善など  
 【支援内容】飼料とうもろこし1tあたり1,100円(R5年度の購入数量を上限)

### 〈農家の取組み事例〉

生産コスト削減      生産性向上



- 国産飼料の利用拡大
  - ・飼料用米の利用
  - ・粗飼料作付面積の拡大
- 飼料設計の見直し
- ICT技術の導入
  - ・省力化
  - ・発情発見率の向上
- 飼養衛生管理の改善
  - ・ワクチン接種
  - ・防寒対策や消毒徹底



# 5 肥育牛生産者緊急支援事業費

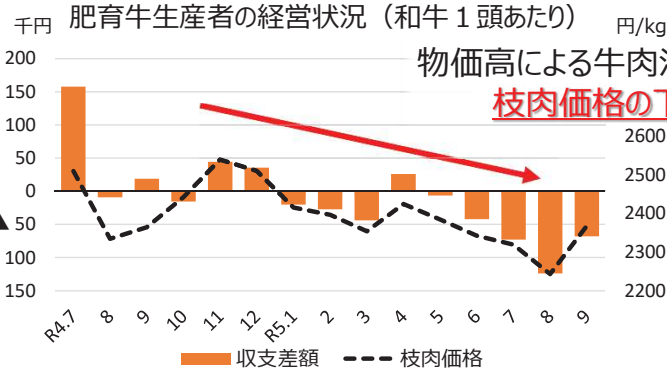
令和5年度12月補正予算(案)  
予算額 30,471千円

本県肉用牛生産基盤の維持強化を図るため、牛肉消費低迷に伴う枝肉価格の低下や長引く飼料・資材価格の高騰により厳しい経営環境にある肥育牛生産者を緊急的に補助する。

お問い合わせ先  
農林水産部農業振興局  
畜産課  
(089-912-2575)

### 事業イメージ

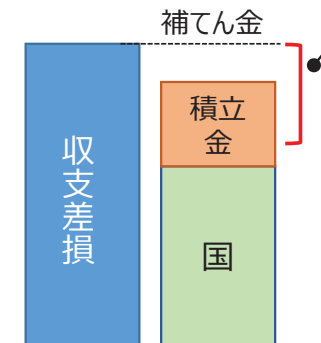
**KPI** セーフティネット加入率  
(セーフティネット加入率の維持を目指す)  
現状値 98.2% (R4年度)  
目標値 98.2% (R6年度)



県

### 国の肥育牛セーフティネットに加入し、意欲をもって生産に取り組む生産者を支援

【肥育牛セーフティネット】  
1頭あたりの標準的販売額が標準的生産費を下回った場合、その差額(收支差損)の9割を国、生産者、県が負担して補てん。  
(負担割合)  
国：生産者：県  
= 12 : 3 : 1



**実質生産者負担部分**  
・セーフティネット補てん外  
・補てん金のうち生産者分  
※收支差損の増大に伴い、実質生産者負担額も増加。

県支援により、  
負担の軽減を図る。

### 事業概要

【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

### 肥育牛生産者緊急支援事業

30,471千円

- 事業主体  
公益社団法人愛媛県畜産協会
- 対象者  
国の肥育牛セーフティネット加入者
- 支援内容  
対象期間中に販売された牛が、国の肥育牛セーフティネットにより補てん金の交付を受けた場合、その收支差損のうち実質生産者負担相当額の1/3以内を助成
- 対象期間  
令和5年4月～令和6年6月
- 事業スキーム



## 6 林業・木材産業効率化支援事業費

エネルギー価格や物価高騰の影響を受けている県内林業事業者・製材業者等に対し、経営の安定化や事業継続を図るため、生産性や燃費性能の向上につながる取組みを支援する。

お問い合わせ先  
 農林水産部森林局  
 林業政策課  
 (089-912-2585)

### 事業イメージ

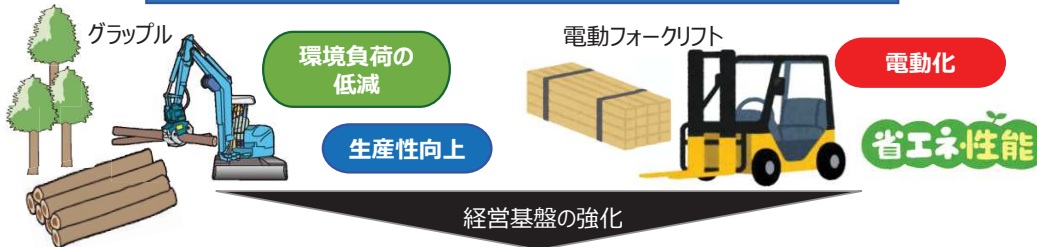
**KPI** 支援を受けた林業事業者等の素材生産量増加率  
（県計画に基づく素材生産量増加率（+8.2%）を上回る水準を目指す）  
 現状値 -  
 目標値 10%（R6年度）

### 現状 物価・資材高騰の影響

林業事業者 ⇒ 燃料費コスト高騰・木材価格下落による経営難  
 製材業者 ⇒ 電気代、燃料費の高騰による製造コスト増

そこで

生産性の向上等に取り組む事業者を緊急的に支援



木材需要に対応した県産材の安定供給力の強化  
 県内林業・木材産業の安定的・持続的な事業の継続

効果

**林業・木材産業の成長産業化**  
 環境負荷低減・省エネへの貢献  
 カーボンニュートラル社会の実現

### 事業概要

【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

### 林業・木材産業効率化支援事業

20,000千円

#### 1 事業内容

生産性や燃費性能の向上に資する機械・設備等の導入や改修に係る支援

- (1) 高効率型機械・設備等の導入・更新  
 (フォークリフト、グラブ等)
- (2) 生産機械・設備の高効率化修繕・改修  
 (高性能林業機械、製材用機械等)

#### 2 補助対象者

林業事業者、製材業者等

#### 3 採択要件

- ・燃費性能や作業効率の向上が図られる機器であること
- ・生産量もしくは生産性が現状値以上となる目標を設定すること
- ・生産量や販路の拡大に新たに取り組むこと

#### 4 補助率

1 / 2 以内（上限250万円）

《スキーム》

県

補助

事業者

# 7 原木生産緊急対策支援事業費

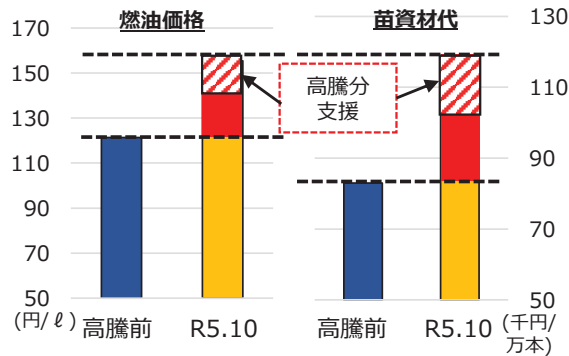
円安等の影響により燃油など価格高騰が長期化するなか、原木やコンテナ苗の生産に取り組む生産者に対し、経営の安定化を図るため、燃油など価格高騰分の一部を緊急的に支援する。

お問い合わせ先  
 農林水産部森林局  
 森林整備課  
 (089-912-2595)

## 事業イメージ

**KPI** 支援を受けた生産者の経営の継続率  
 現状値 -  
 目標値 100% (R6年度)

### 価格高騰の状況



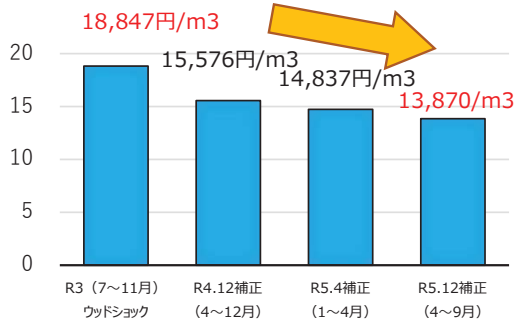
1.原木生産に係る燃油価格  
 高騰前：121.3円/ℓ  
 R5.10：155.4円/ℓ  
 (34.1円/ℓ (28%) 増)

2.コンテナ苗生産に係る資材代  
 高騰前：83千円/万本  
 R5.10：119千円/万本  
 (36千円/万本 (43%) 増)

**物価高騰の長期化**

原木価格は、4月補正時に比べさらに下落  
**【ウッドショック時 (R3.7~11) の73%】**  
 生産資材高騰による苗単価上昇の恐れ

### 原木平均価格の推移



## 原木・苗木生産経営の悪化

経営の安定化を図るため、燃油など  
 価格高騰分の一部を緊急的に支援

## 事業概要

【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

### 1 原木生産緊急対策支援事業 135,890千円

原木生産に取り組む生産者に対し、原木生産（伐倒から運搬）に要する燃油価格高騰分の一部を支援する。

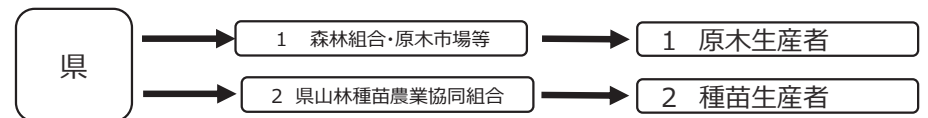
- ・ 事業主体：森林組合・原木市場等
- ・ 事業実施主体：原木生産者
- ・ 補助対象：① 原木生産量 ② 関連経費
- ・ 補助率：① 主伐材 1/2以内、間伐材 1/3以内  
② 定額

### 2 種苗生産緊急対策支援事業 2,170千円

コンテナ苗生産に取り組む種苗生産者に対し、コンテナ苗生産に要する生産資材価格高騰分の一部を支援する。

- ・ 事業主体：愛媛県山林種苗農業協同組合
- ・ 事業実施主体：種苗生産者
- ・ 補助対象：① 苗木生産量 ② 関連経費
- ・ 補助率：① 1/2以内  
② 定額

《スキーム》





# 8 漁業用燃油・飼料高騰対策緊急支援事業費

燃油や飼料価格高騰の影響を受けにくい漁家経営体質に転換を図るため、セーフティネット構築事業の加入者の維持や未加入者の加入を促進するとともに、コスト削減や収益確保の取組みを支援する。

お問い合わせ先  
 農林水産部水産局  
 漁政課  
 (089-912-2605)

## 事業イメージ

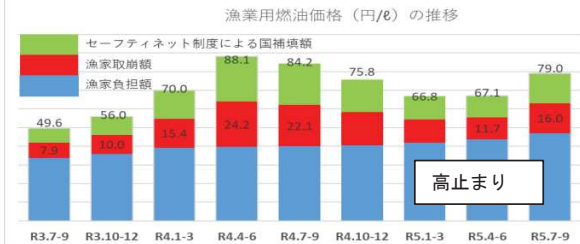
**KPI** セーフティネット構築事業加入件数  
 (R5年度加入件数から137件増やし(10%増)、  
 全体で1,511件(48%)の加入を目指す)

現状値 1,249件 (R4年度)  
 目標値 1,511件 (R6年度)

## 事業概要

【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

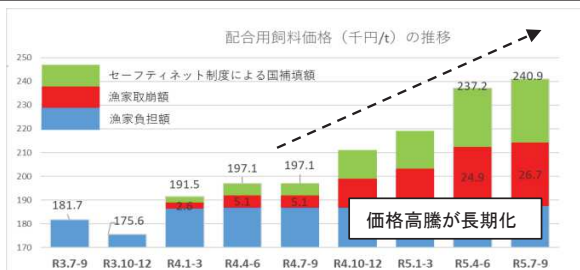
### 燃油



燃油価格高騰  
 (R2.5の約1.5倍の価格)

取り崩し増加→積立金不足

### 飼料



輸入魚粉の高騰  
 円安の影響

取り崩し増加→積立金不足

**1 漁業用燃油・飼料高騰対策緊急支援事業 291,845千円**  
 省エネや飼料コスト低減に取り組む漁業者に対し、漁業用燃油及び養殖用配合飼料経費の一部を支援する。

### 取組内容

**漁家経営の生産原価軽減に向けた**以下のいずれかの取組み

燃油：セーフティネット加入要件の遵守に加えて、省エネへの追加取組み

飼料：飼料コストの低減への取組み

### 対象者

セーフティネットR5加入者、R6加入予定者かつ積極的に生産原価軽減の取組みを行う漁家

### 取組推進費

セーフティネット発動時（R5第4～R6第3四半期）の積立金取崩額相当分の1/3以内（上限1,000千円）

### <これまでの取組み>

R4.12月補正予算及びR5.4月補正予算で燃油・飼料高騰に対し、セーフティネット加入者の積立金等への支援

### <成果>

・セーフティネット加入者の増(74件)  
 ・積立金の積み増し  
 ・価格高騰の影響を受けにくい経営体質への転換

### <現状>

・燃油・飼料価格の高止まり。  
 ・継続的な支援を求める強い要望  
 ・漁家の経営体質転換が追い付かないおそれ

価格高騰に対する緊急的支援が必要

### 《スキーム》

